

## 令和4年度 第2回三鷹市スポーツ推進審議会 会議要旨

開催日	令和4年7月22日（金曜日）	時間	15:00～16:30
会場	三鷹市役所 第二庁舎4階 243会議室	傍聴人数	なし
出席者	吉田委員、國澤委員、苔口委員、五味川委員、相原委員、安中委員、助友委員、鈴木委員、寺田委員、屋敷委員、細川委員、川瀬委員、岸川委員		
欠席者	高柳委員		
行政	大朝スポーツと文化部長、高松スポーツと文化部調整担当部長、平山スポーツ推進課長、丸岡スポーツ推進課主任、佐藤スポーツ推進課主事		
内容	<p>1 委嘱式 委員自己紹介</p> <p>2 開会（事務局）</p> <p>(1) 委員出席状況について 委員の出席状況は、委員定数14人のうち13人の出席により、委員の過半数が出席し、定足数に達していることから、本日のスポーツ推進審議会は有効に成立している。</p> <p>(2) 傍聴希望について 市民会議、審議会等の傍聴は、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、原則として公開している。現時点で、傍聴の希望者はいないが、遅れて来た場合は、条例に基づきご入場いただく。</p> <p>(3) 会議録の作成と公開について 三鷹市の市民会議、審議会等では、会議録を要録として作成し、公開している。会議の内容を録音し、会議録の原案を出席委員に確認のうえ、市のホームページと総務部相談・情報課にて公開を行う。</p> <p>3 正副会長互選</p> <p>(1) 会長選出 互選により、会長に助友委員を選出 助友会長よりあいさつ 定期的に参加している国際健康教育ヘルスプロモーション連合において、三鷹市のスポーツ推進事業35事業の健康影響予測評価を発表した。その内容として、三鷹市のスポーツ推進事業は、抜け落ちやすい障がいを抱えた方や若い子育て世代を対象とした事業が網羅されていることがわかった。 医療費が増大しているなかで、スポーツを通じた健康増進事業が重要になってきていると考えている。子どもたちも病気にならないという教育から、病気になったとしても早く回復できるように一生涯スポーツを続けていけたらよいという学び方に変わりつつある。今期は、これらのことを議論していければいいと考えている。 また、本審議会委員の障がい者スポーツ関係者が1人から2人へ増えていることから市として力が入っていると感じる。ぜひ、スポーツ実施率が向上するような施策をここで議論していきたいと思うので、どうぞご協力のほどよろしくお願いしたい。</p>		

<p>内 容</p>	<p>(2) 副会長選出  互選により、副会長に寺田委員を選出  寺田副会長よりあいさつ  スポーツバイオメカニクス運動動作分析をメインに研究をしている。最近はオリンピックだけではなく、パラリンピックもサポートしてほしいという要望が出てくるなど、社会全体がインクルーシブな社会になってきていると感じている。大学のなかでも、体育において、インクルーシブを授業のなかでも取り入れて、障がい者や運動が好きな学生、嫌いな学生と一緒に楽しめるルールを考えていく授業展開をするなど、インクルーシブとは何かを問い続けながら実施している。そのことをこの審議会で何かしらのお役に立てたいと思う。</p> <p>3 河村市長あいさつ  コロナ禍のなかで、大きな事業を見据えながら議論してきたが、アフターコロナはまだ遠いと感じるので、予防しながら前に進んでいきたい。  多様性のなか、いろいろなスポーツの楽しみかた、スポーツの実施方法を考えていかなければいけない時代となり、これからのスポーツ実施率を増やしていく必要がある。実施率向上のために、臆することなく意見を出していただき、新しいスポーツがどのように展開されるべきものなのか、新しいものを作りだしてほしい。基本計画・構想の見直し時期であるため、この審議会で先駆的な意見を出してほしい。</p> <p>事務局自己紹介</p> <p>4 三鷹市スポーツ推進審議会、三鷹市のスポーツ施策に係る概要説明  (平山スポーツと文化部スポーツ推進課長説明)  審議会の設置、所掌事項等について説明(スポーツ基本法第31条、第35条、三鷹市スポーツ推進審議会条例第1条～第4条、三鷹市スポーツ推進審議会条例施行規則第1条・第2条)</p> <p>5 議題  (1) 三鷹市スポーツ推進計画2022(第1次改定)について  (平山スポーツと文化部スポーツ推進課長説明)  3ページ:計画の期間は、平成26年度(2014年度)から令和4年度(2022年度)までの9年間となっているが、基本構想・第5次三鷹市基本計画の策定期間の影響により延長をする。  4ページ:基本理念 希望あふれるスポーツのまち 三鷹  ～「豊かなスポーツ社会」「ひとり1スポーツの三鷹」の実現と  スポーツを通じた「健康都市づくり」と「コミュニティ創生」をめざして～  5ページ:指標 スポーツ実施率 2022年(令和4年)までに18歳以上の市民が週1回以上のスポーツ活動を行っている割合を65%にする。  市のスポーツ施設の利用者数 2022年(令和4年)までに、年間利用者数を130万人にする。とあるが、コロナ禍により達成が難しい状況である。</p>
------------	--

内 容

スポーツ実施率は、4年に1回のアンケート調査で直近では56.8%の実施率となっている。

7ページ～：計画の体系 1 スポーツに親しむ環境の整備、2 だれもが目的に応じて楽しめるスポーツライフの推進、3 スポーツ活動をともに支えあう人材の創出、4 スポーツを通じたコミュニティの創生、5 推進体制の整備の5つの体系で基本理念を実現していく。

(2) スポーツを通じた健康都市づくりの基本的な考え方について  
(平山スポーツと文化部スポーツ推進課長説明)

令和4年3月に策定、健康増進とスポーツを結び付けて事業を推進していくため策定をした。

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
スポーツ推進計画2022 (第1次改定)			スポーツ推進計画2022 (第2次改定)	
スポーツを通じた健康づくりの 基本的な考え方				

スポーツ推進計画2022（第1次改定）とスポーツを通じた健康都市づくりの基本的な考え方を同時並行的に進め、新たなスポーツ推進計画に反映させていく。目指す姿は、スポーツ実施率の向上を通して、健康増進（健康寿命を延ばす）ことを目標としている。

心と体の健康づくり  
**スポーツを通じた市民の健康増進**  
(健康寿命を延ばす)

**スポーツ実施率の向上**  
「継続的」「計画的」な運動

- ①科学的根拠に基づく、スポーツを通じた健康増進事業の展開
- ②事業評価・点検による事業ターゲット（性別、年齢等）の明確化
- ③運動のきっかけづくりから運動習慣の定着を見据えた事業転換


施策の方向性：1 運動による医療費削減効果を踏まえた健康ポイント導入の検討、2 スポーツを通じた健康推進事業への市民参加率の向上、3 庁内連携の拡充と市内事業所等の健康都市づくりへの参加

目標値の設定：令和4年度スポーツ実施率65%、年間ウォーキング参加者2,500人、年間ランニング参加者2,000人を目標とし、スポーツを通じた健康都市づくりを進めていく。

(3) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック等三鷹市レガシー創造方針について  
(平山スポーツと文化部スポーツ推進課長説明)

令和4年6月に策定、2019年3月に市民及び関係団体等からなる連携組織として「東京 2020 大会等に向けた三鷹地域連携会議（以下「地域連携会議」という。）」を設置し、地域連携会議から、2022年2月に「東京 2020 大会等に向けた三鷹地域連携会議大会レガシーに関する提言及び活動報告書」を受け、市として「東京 2020 オリンピック・パラリンピック等三鷹市レガシー創造方針」を策定した。

令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度～
スポーツ推進計画2022 (第1次改定)		次期スポーツ推進計画
東京2020オリンピック・ パラリンピック等 三鷹市レガシー創造方針		



創造方針として以下の構成となっている。

- 1 スポーツ実施率の向上を通じた健康都市づくりの推進
- 2 子どもの感動体験、オリンピック・パラリンピック精神に関する学びの充実
- 3 障がい者スポーツの普及、障がい者理解の推進
- 4 チリ共和国ホストタウン事業の積極的な展開
- 5 新型コロナウイルス感染症対策の検証と対策を踏まえたオンライン等を活用したスポーツの普及
- 6 大学生がボランティアとして継続的に活躍できる枠組みの創設などスポーツ・健康分野における大学との連携強化、スポーツボランティアの充実
- 7 三鷹ゆかりのトップアスリートやプロスポーツチームの応援と連携の推進

(4) 令和4年度主なスポーツ事業について

(平山スポーツと文化部スポーツ推進課長説明)

三鷹市の施政方針に記載のある事業

- 1 中学校における夜間照明設備 LED 化工事の実施
- 2 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等のレガシー事業の実施
- 3 心と体の健康都市づくりの推進
- 4 総合スポーツセンターの円滑な管理運営
- 5 大沢野川グラウンドの復旧工事

上記のほかに、市の事業として、2つ大きな事業を実施している。

1つ目に10月9日に実施を予定しているみたかスポーツフェスティバル。誰でもスポーツを楽しめるレクリエーションスポーツを主に、コロナ前は延べ2万人参加している。

2つ目は11月27日に実施を予定している三鷹市民駅伝大会。市内12.3キロを4区間に分けて実施しており、200チーム800人が参加している。

三鷹市のスポーツ施設、体育協会、地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員

<p>内 容</p>	<p>について説明（2021 みたかスポーツインフォメーション） SUBARU 総合スポーツセンターで実施しているスポーツ教室の説明（チラシ）</p> <p>質疑応答・意見等</p> <p>吉田委員：三鷹市体育協会の加盟団体について、今年からサンボ連盟が正式加入をした。サンボは、柔道と空手を混ぜたもの。1 団体増えて 32 団体となった。</p> <p>安中委員：三鷹のスポーツの方針について、説明を受けたが、審議会とはそもそも、どのような事柄を議論していくものか。</p> <p>平山課長：審議会の実施回ごとに、議題を設けて議論いただきたいと考えている。 議論内容やお聞きしたい内容について、ポイントを絞って資料をご提供し、一つひとつ具体的にどのような事業を行っていけばよいか、終わった事業については、反省点をお聞きしたりしていくことを考えている。 市長から第 5 次基本計画の話があったが、計画の市全体の方針が固まり次第、委員の皆様、スポーツ推進計画策定に当たって、どのようなステップで進めていくのが良いかなど、ご議論していただくための議題を整理してお伝えしたいと考えている。</p> <p>屋敷委員：ざっくりばらんに話ができたら良いと考えている。障がい者スポーツに携わっているので、障がい者スポーツについての意見や議論ができるように準備して参加したいと思う。</p> <p>川瀬委員：今ある計画を変えていく議論をするということではなく、次の計画を作るための議論をするという理解でよいか。</p> <p>大朝部長：今年度実施した事業について、計画どおりであったか、不足している視点は何かなど、それぞれのご見識のなかから、ご意見をいただくことがある。 一方で、今が計画を見直す時期である。計画の改定に向けて、中長期的なご意見も 2 年間のなかでいただきたいと考えている。</p> <p>川瀬委員：このようなスポーツをしてはどうかという意見や提案をしてもよいのか。</p> <p>大朝部長：はい。今まで積み上げてきたものもあるが、当然できていないことや弱いことがある。未来に向けてできることは、もっとあると思う。そのことを一緒に考えてほしい。意見を言っていただき、それを実現するためにどのように実施していくかを検討するのが、審議会であると考えている。</p> <p>五味川委員：レガシーの創造方針のなかで、子どもの感動体験、オリンピック・パラリンピック精神に関する学びの充実をあげていただき、頼もしいと感じているが、オリパラ以前は、学校にオリンピックやパラリンピアンを招へいする方を紹介してもらったことや、予算があった。オリパラが終わった後は、無くなってしまったが、学校としては、学びは続けたいという思いがある。 市で体験教室やスポーツ教室を実施すると思うが、学校派遣については念頭にあるか。また、学校でオリンピック等を紹介してほしいといったときに、仲介や紹介が可能か。</p> <p>平山課長：学校と連携していきたいと考えているのは、三鷹ゆかりのトップアスリートの皆様と三鷹の子どもたちが触れ合う機会を設けたいと考えている。三</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>鷹ゆかりと限定すると、多くの種目の方がいるわけではないが、ご連絡いただければ、三鷹ゆかりのアスリートを紹介したいと考えている。</p> <p>一例として、ラグビー関係の方を紹介してほしいと要望をいただいたこともあり、東芝やサントリーの選手を学校に派遣する事業もあったので、協力して学びの場に繋げていきたい。</p> <p>屋敷委員：五味川先生から話があった、選手の学校への派遣、講演会や体験会について、東京都と障害者スポーツ協会でもパラクルというサイトを立ち上げている。東京ゆかりのパラアスリートやパラスポーツ関係のコーチやスタッフとマッチングすることができるので、お探しの際は、活用してほしい。</p> <p>サイトを使っていただいて、選手のご指名があった場合にはサポートをさせていただくので、レガシーとして、新たな活躍の場を地域のなかで広めていくため、ぜひご活用いただきたい。</p> <p>苔口委員：スポーツ推進委員として活動している。7月2日にコロナ禍でできていなかった綱引き交流大会を3年ぶりに実施することができた。また、レガシー創造方針にもある大学との連携強化では、今年度から大学生4人がスポーツ推進委員として一緒に活動している。新しい視点で意見を活発に出してくれているので、今後に期待したいと思っている。</p> <p>6 今後の予定</p> <p>(1) 行政報告 (平山スポーツと文化部スポーツ推進課長説明) 三鷹市スポーツ推進審議会報告により、今後の事業予定を報告</p> <p>(2) 審議会スケジュール (平山スポーツと文化部スポーツ推進課長説明) 今後の日程の確認</p> <p>7 閉会あいさつ（寺田副会長）</p> <p>今回1期で初めて参加される方が多い。私は、大学教員として、近隣住民としてスポーツ施設を利用することがあるが、自分の置かれた立場で、感じたことを伝えることが大事だと思っている。初めてでわからないこともあると思うが、皆さんも自分が置かれた環境のなかで感じたことを、意見として出していただければと思う。</p> <p>以上</p>
------------	---